

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	全利用者の自由を確保するためにも、施設をしないケアを職員が考え、そのための個別のケアを実践してほしい。	自分の居場所の確立。自由に行動することができる。	日常的な散歩や外気浴、テラスのコンテナ野菜、庭の花壇の水やり等を等してグループホームつつじが自分の居場所となってきた。玄関の鍵も日中は、ほぼ開場している。	6ヶ月
2	45(17)	入浴日や声をかける人を限定すること無く、毎日全員に声をかけて、希望が出れば支援してほしい。	希望があればいつでも入浴が出来る。	ほぼ、毎日全員に声掛けを行い希望者には入浴をしてもらっている。	1ヶ月
3	54(20)	共有空間に臭いが広がらないように臭いの元を消す努力をしてほしい。また、消臭剤が入居者にとって馴染みの臭いと言えるのかも検討してほしい。	時間を決め定期的に窓を開け換気する。	時間を決めて毎日窓を開け空気の入替えを行っている。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。